

## I-8 曲直瀬養安院文書の研究 (三)

## ——文書の概要 (下)

友部和弘・町泉寿郎・小曾戸 洋

北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部

前報に引続き曲直瀬養安院文書の概要を記す。

## 三、玉林院・家政関係

②7 「玉翁兼而申置条々」一枚(二紙)、慶長十六年、法印正琳。

②8 「玉林院仙溪和尚入寺法語」一冊(墨付一二丁)。

②9 「仏舍利拝領之書付」一紙一包、宝永元年八月。

「覚」一紙一包、文久二年三月十三日(御請書之事、寺領御朱印二通請取)。

③0 「玉林院関係文書」七種九点。「正琳院請式師檀申談条々」慶長十六年(正琳↓月岑和尚)、「正琳新院落成」慶長十一年、「覚(玉琳院開山月岑俗縁之事)」、「覚(先祖代々祠堂料受納)」、「宝永二年(紫野玉林院↓養安院法印)」、「平庵法印祠堂料受

納」享保十六年(法眼正珪)、「平庵公石塔之件」(玉林院大龍↓法眼正珪)、「御注文」三通(石屋佐兵衛↓玉琳院)。

③1 「曲直瀬家屋敷図」一紙、「曲直瀬家屋敷図写」天保二年(大木忠左衛門↓菅沼給左衛門他)。

③2 「過去帳」一帖、「過去帳」一帖、「年回忌書付」五紙五紙。

③3 「先祖供養毎月忌」一折帖。

③4 「回忌法事料覚」一通。

③5 「拝借申金子之事」一紙、明治元年。

③6 「差上申証文之事」一紙、慶応四年。

③7 「借用申金子証文之事」一紙。

③8 「覚(寄附金収納)」一紙、嘉永元年(天真寺納所)。「覚(和喜手当)」一紙。

③9 「書状及び家内諸事書付類」『実記』一綴、元禄九年。「一札(養子返し)」一紙、元文四年。「河尾修理統柄書付」一紙。「覚(炭十五俵)」一紙。「ゆずり書付」ほか三紙。「和歌」一紙(松寿院、辞世か)。「書状」一通(曲直瀬雅四郎宛)。「書状」一

通(平庵法印石塔建立)。「書状」一通(一柳土佐守→正珪)。「書状」一通(ちやうけん→養安院)。「書状」(一部土佐守→養安院)。「書付」一紙(養安院法印)。「書付」一紙(和歌)。このほか〔断簡類〕種々二一点。

④0 『江戸全図』貼合極大一枚物、文政九年刊(須原屋茂兵衛)。

④1 『掌中武家覽要』一冊、文政十三年年刊。『日光山御宮御参詣御供奉』一冊、天保十四年刊(出雲寺金吾)。

#### 四、文芸関係

④2 『曲直瀬養安院歴代書跡及所用印譜』一軸(今回一五枚に改装) 始祖玉翁君(正琳)、五印、四点。三世一有君(玄理)、和歌短冊三点。四世平庵君(正璆)、二印、四点。五世雪翁君(正珪)、一九印、二点。六世逃禅君(正山)、五印、一点。七世龐沢君(正雄)、四印、一点。八世礫翁君(正隆)、七印、二点。九世篁庵君、四印、二点。十世静斎君(正健)、三印、一点。

④3 「施南金臨書」一幅。

④4 「点画変化草法通式」一卷。

④5 「正隆礫翁詩稿」六点六紙。

④6 「服部元喬(南郭)「寿序為雲夢越公平庵先生」書幅」一幅、享保二十年。

④7 「詠草」一紙(午年十月々次、養安院法印)。「詠草」一紙(中院大納言殿添削、法印恒昌)。

④8 「和歌」一〇点。折紙・切紙等。

④9 「和歌短冊」四二枚。塙忠韶・正毅・正親・季元・季和・恒敬・恒敬・恒昌・明善ほか。

⑤0 「正珪雪翁雲夢筆序文等拔録」一冊。

⑤1 「水墨画」一枚(花鳥図)。

⑤2 「夫婦和合吉兆神像」一幅。

⑤3 「大山上和葉使主福常伝」一枚(肖像画、明治十九年)。

⑤4 「拓本類」三点。越智正璆書跡拓本帖(三紙)。勿来関歌碑拓本二枚。

⑤5 「郭尚先書」一幅、(尚先は嘉慶の進士、大理寺卿、礼部侍郎)。

(ほかに紙面の都合上略したものが若干点ある)